

# 防災だより

その62

防災専門官 野田 秀敏

## 「市民一斉避難訓練」を開催します

市直下を縦断する警固断層による揺れを想定した「地震発生時の対応」と「避難経路と避難場所の確認」を行います。突然発生する地震に備えるため、多くの市民の皆さんの参加をお願いします。

### 1 実施日時

令和4年11月27日(日)  
午前10時から約2時間

### 2 避難先

公園などの広い場所から避難所（詳しくは回覧板をご覧ください。）

### 3 訓練想定

- ・10時に、福岡地方を震源とする地震発生（震源の深さ約10キロ）
- ・地震規模マグニチュード7.2、震度6強～6弱

## 地震発生時の時間別行動マニュアル

### 【地震発生】

#### ①まず自分の身を守る！

- ・あわてず、落ち着いて身の安全を確認する。
- ・頭を保護し、テーブルなどの下に避難する。
- ・倒れてくる家具・本棚や窓ガラスなど落下物に注意する。
- ・揺れているとき、無理に火を消そうとしない。

#### ②揺れがおさまったら

- ・落ち着いて状況を把握し、安全を確認する。
- ・靴を履く（ガラス・食器の破片から足を守る。）
- ・ガスコンロやストーブなど火の始末とコンセントを抜く。
- ・火が出たら、周囲の人に知らせ初期消火する。

#### ③わが家の安全確保！

- ・ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。
- ・外に出るときは、ブレーカーを落とし、ガス・水道の元栓を閉める。
- ・玄関に避難済みタオルや避難先のメモを掲示する。
- ・ラジオなどで正しい情報を入力し、デマに惑わされない。

#### ④隣近所の安全確認！

- ・非常時持出品を携行、屋外の安全な場所に、まず避難する。
- ・避難時は、隣近所に声を掛け相互に安全を確認し合う。
- ・近所から火がでたら、大声で知らせ、協力して消火する。
- ・余震、倒壊や落下物、ブロック塀などに、注意し安全な経路で避難する。

#### ⑤避難所への移動

- ・避難所となる施設の安全が確認されてから、移動する。
- ・コロナ禍においては、家に異常がなければ在宅避難、安全な親戚宅などへの避難、ホテル避難、車中避難、テント泊などの分散避難に協力してください。



## コミュニティ無線によるJアラート試験放送を実施します

緊急時にJアラート(全国瞬時警報システム)の情報がコミュニティ無線で正常に放送できるかを確認するため、全国一斉に実施される試験放送を本市においても実施します。

放送日時 令和4年11月16日(水) 午前11時  
令和5年2月15日(水) 午前11時

放送内容 「これは、Jアラートのテストです」を3回くりかえし放送し、「こちらは太宰府市です」を1回放送します。



※状況に応じて、中止または延期される場合があります。

太宰府市 総務部 防災安全課(内線519・531)